

女性医療のあり方考える

富山 We クリニックで講演会

NPPO法人ハッピーウー主催する新春スペシャル講演会「マンプロジェクトが主 演は十四日、富山市根塚



パネル討論で女性医療のあり方を考える参加者
＝富山市の女性クリニックWe 富山

町の女性クリニックWe 富山で「女性医療に求めるもの」と題して行われ、

ウィミズ・ウェルネス銀座クリニック(東京)の対馬ルリ子院長らが医療の性差などについて現状を報告した。

一部は対馬さんが「日本の女性医療の現状と未来」と題して講演した。女性の平均寿命が長くなった現状を踏まえ、「女性の医療現場ではヘルスケア、医療、知識を統合した情報を提供していかねばならない」と述べた。二部のパネル討論では女性クリニックWe 富山の種部恭子院長がコーテ

ィネーターを務め、対馬さんと同クリニックなどで活動するウィメンズカウニング富山の柵座久子代表、ハッピーウー

マンプロジェクトの小林涼子代表が意見交換した。

種部さんは女性の心身の不調はドメスティック・バイオレンス(DV)を盛り込みたい」と述べた。小林さんはプライベートシーへの配慮を求める人が多い実情を述べ、柵座さんは「公的機関の相談窓口」にジェンダーの視点

を盛り込みたい」と述べた。小林さんはプライベートシーへの配慮を求める人が多い実情を述べ、柵座さんは「公的機関の相談窓口」にジェンダーの視点